

五業つ子

No. 096
—発行日—
2014. 03. 24

長崎工業高校新聞部
—発行—
長崎工業高校新聞部

三四年、田中さん。三年間、闇で生を喰らうやうに読む
られた卒業生省略。新しくなった本館育館に校歌を歌ひ
大きな声が響きあひました。感動と共に幕を開いた卒業式
インスピリートを受けて、だらだらとした三年生の表情は輝いて
いて、笑顔であふれていました。

卒業式

卒業後も一生懸命！」
卒業生に聞いた高校生活の最後。そ
の時、何を思う？
「今」の気持ち。
うれしい反面さびし
「清々しい」ここ
のクラスで良かっただな
「友達」と離れるのが寂



◎「車の免許を取る」「自炊」「お金持ちになる」ほいの未来を見据える、その目は輝いていました。

私が子を想う…

▼春になれば脰ぬかに

・まいばん トガトニ

今

強く吹く風
春一番

すれれ思賑まバ たき不がはいくりの

つい先日、長工生不在校舎に大勢の人が集まつました。そう私たちもまた、入試で来たのでした。私は、一ヶ月後には、このうちの一つの教室に、一年生の教室には、安とワクワクとドキドキの混ざつた顔の新入生たちが居ることで、しょんぼりと今は空っぽの、このうめの巣。しかし春にかけては、やたらとバーマが飛んできて、やがて、不安になると押し潰されてしまう。そうになる心も少し時々、わたくるような気がしきしまつた。「春」はもうすぐ。

卒業式が終わり、浮遊感のある時間が流れます。寝起きのときにベッドにINしないでいる不思議なエウリティマイ。一時ごとに一日が巡つていて、まるで錯覚さえ見えます。そんな私に追い打ちをかける様に迫る春休み。緩む私の気。延びる睡眠時間。削がれて行くやうな気。まことに、春は王子さま。

レザーを着た生徒をボリボリと眺める。気付かれても安心。我が部の腕章はもぐる。網が開かれ、駆け出す最前列の中学生。歎声が上がる中、スマートフォンで親や友達に喜びを伝える生徒も。最近の進んでるのね。そんな事はを思いながら取材を敢行。「嬉しい！もう（受験に）落ちちゃったやい！」と今度は気持ちを答えた不思議な気持ちはきっと大物になることでしょう。

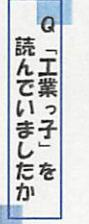
二年生の今日の日。新聞部はまさしく自分が新聞部

新聞部アンケート

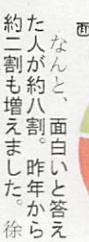
面白いですか

部としてはとても嬉しい結果となりました。みんなさんに楽しく読んでもらえるような、毎回読みたくなる工業つ子を目指して日々新聞作りに励みます。

Q 一番好きなコーナー



毎回
35%



今年も三年生アシスタントと共に「工業女子」について聞いてみます。毎年少しでも変化していることを期待しつつ、集計していきます。今年の三年生は工業女子をどんなふうに読んでくれていたのか。

Response	Percentage
Good	35%
Average	18%
Poor	5%
Bad	42%

は九割！昨年より約一割
の内に三十五%
人が毎回読んでくれて

読んで
119
いたということで、新聞
気が向い
25

こそ「面白い」
指して、また一
つであります。——
年間頑張
百%を日

より精進しますので、これからも工業っ子をよろしくお願ひします。